

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：男女共同参画推進費

事業名 男女共同参画計画推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課 男女共同参画係

男女共同参画・女性の活躍支援センター

電話番号：058-214-6431

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,865 千円 (前年度予算額： 2,221 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,221	0	0	0	0	0	0	0	2,221
要求額	2,865	0	0	0	0	0	0	0	2,865
決定額	2,865	0	0	0	0	0	0	0	2,865

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

少子高齢化の進展や景気低迷、人々の価値観の多様化など、社会・経済状況が大きく変化する昨今、家庭や職場、地域など、あらゆる場面において、男女が互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」が今まで以上に必要となっている。

このため、「男女共同参画社会基本法」並びに「岐阜県男女が平等に人として尊重される男女共同参画社会づくり条例」の基本理念を踏まえ、男女共同参画講座を引き続き実施するほか、男女共同参画フォーラムの実施により、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを強化する。また、県男女共同参画計画（第5次）を周知するとともに、市町村における男女共同参画施策との連携や市町村の男女共同参画担当職員の人材育成や資質向上を図る。

(2) 事業内容

[1] 地域別男女共同参画推進事業

① 男女共同参画フォーラム (1回)

対象：一般県民

内容：県内市町村と共同で、県民の男女共同参画意識の醸成及び市町村職員の人材育成や資質向上を図り、地域における男女共同参画の推進をめざすことを目的に、男女共同参画の現状把握や課題解決など男女共同参画社会の実現につながる講演等の機会を提供する。

② 男女共同参画出前講座 (3回)

対象：一般県民

内容：男女共同参画に係る基礎知識、現状、必要性等に係る啓発を行うため、自治会、PTA等が関係する会館等に市町村民権部を派遣し、講座を実施する。

云、F1は守が開催する云守に守門講師を派遣し、講座を大肥りる。
時期：11月の「男女共同参画推進強調月間」を中心に、3回程開催

③男女共同参画一般公開講座(5回)

対象：一般県民

内容：市町村と連携し、県民に身近な課題等をテーマに、男女共同参画の視点から、個人の意識啓発や人材育成、地域活動の活性化につながる講座・研修会等を実施する。

時期：11月の「男女共同参画推進強調月間」を中心に、5回程開催

[2]理工系分野で活躍するロールモデルとの交流事業

対象：中学生

内容：「男性は理系、女性は文系」という性別による進路先・職業役割の意識を若年期から払拭するために、理工系分野で活躍する女性ロールモデルとの交流事業を2回程実施

[3]男女共同参画啓発

内容：新聞等による広告、啓発物品や高校生向け啓発冊子の作成により男女共同参画意識の醸成を図るとともに、第5次男女共同参画計画（計画期間：令和6～10年度）及びダイジェスト版冊子の作成を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

広域的な県民への取り組みとして県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	458	講師謝金
旅費	262	費用弁償、業務旅費
需用費	1,065	消耗品費、会議費、印刷製本費
役務費	55	通信運搬費
委託料	913	チラシ作成業務委託、託児業務委託等
使用料	112	会場借上料
合計	2,865	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 → 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
- ・岐阜県男女共同参画計画 → 1 あらゆる分野における男女共同参画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「岐阜県男女共同参画計画(第4次)」を策定し、「あらゆる分野における男女共同参画」「働く場における男女共同参画」「人権が尊重され、安全・安心に暮らせる社会の実現」「男女共同参画推進の基盤づくり」を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H25)	R4・R5 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R4・R5)	達成率
①審議会等における女性委員参画率	35.0%	45.3% (R5)	—	—	40～60% (R5)	—
②「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	—	66.5% (R4)	—	—	80% (R4)	83.1%
③配偶者暴力防止基本計画を策定した市町村数	—	41 (R4)	—	—	42 (R5)	97.6%
④「男女共同参画社会」の認知度	—	72.4% (R4)	—	—	100% (R4)	72.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 市町村連携による「一般公開講座」を開催（1箇所 35名参加） 理工系分野で活躍するロールモデルとの交流事業を開催（2校 255名参加） 交流事業でのアンケートでは、7割以上の生徒が「受講前より理工系分野への興味が深まった」と回答
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 市町村連携による「一般公開講座」を開催（2箇所 103名参加） 高等学校へ講師を派遣する「基礎講座」を開催（3箇所 257名参加） 理工系分野で活躍するロールモデルとの交流事業を開催（2校 196名参加） 交流事業でのアンケートでは、6割以上の生徒が「受講前より理工系分野への興味が深まった」と回答
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市町村連携による「一般公開講座」を開催（2箇所 99名参加） 高等学校へ講師を派遣する「基礎講座」を開催（1箇所 84名参加） 理工系分野で活躍するロールモデルとの交流事業を開催（2校 47名参加） 交流事業でのアンケートでは、9割以上受講者の生徒が「受講前より理工系分野への興味が深まった」と回答

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	家庭や職場、地域など、あらゆる場面において、男女が互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」が求められており、その啓発等の充実は引き続き必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	審議会等における女性委員参画率について、令和2年度時点で目標数値を達成しており、事業の成果があがっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	講座について、地域の会合や学校の授業等の機会を利用して実施するなど、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「出前講座」「一般公開講座」について、より一層効果的なPR方法等について検討をし、幅広い啓発を行う必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も幅広い年齢層に男女共同参画の意識啓発が必要であり、引き続き事業を継続していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】